

日本の人材育成とIT

課題と展望

[中]

国際IT財団事務局長 齋藤 奈保

て動くことで、ソーティング(整列)のアルゴリズムを学ぶ。また、日本と異なり、英国ではナショナルカリキュラムで最低限の指針を示すのみで、具体的な教育内容などは学校・教師の裁量に委ねられている。「コンピューティング」の授

業も一般的には5〜7歳で開始するが、学校によっては3歳からの早期教育に取り組む。

ト上に開放し、エストニアは90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

越えようとしている。エストニアは北欧のバルト海に面し、人口130万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

国化を推進してきた。スカイプなどを開発したIT先進国で、国民IDや電子投票を実現している国である。

は90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

30万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

国化を推進してきた。スカイプなどを開発したIT先進国で、国民IDや電子投票を実現している国である。

は90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

30万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

国化を推進してきた。スカイプなどを開発したIT先進国で、国民IDや電子投票を実現している国である。

は90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

30万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

国化を推進してきた。スカイプなどを開発したIT先進国で、国民IDや電子投票を実現している国である。

は90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

30万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

国化を推進してきた。スカイプなどを開発したIT先進国で、国民IDや電子投票を実現している国である。

は90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

30万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

国化を推進してきた。スカイプなどを開発したIT先進国で、国民IDや電子投票を実現している国である。

は90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

30万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

国化を推進してきた。スカイプなどを開発したIT先進国で、国民IDや電子投票を実現している国である。

は90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

30万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

国化を推進してきた。スカイプなどを開発したIT先進国で、国民IDや電子投票を実現している国である。

は90年代から人材戦略に注力し、も珍しいサイバーセキュリティを学び、模擬ハッキングを行う授業もある。首都にあるタリン工科大学では、欧州で

30万人の小さな国である。1991年の独立以降、欧州への復帰・統合、経済改革とIT立

国策としてユリテリの修士課程があり、産学連携のハブになっていく。両国ともグローバル競争を意識し、IT教育の改革を進めてきた。初等教育(7歳)では、プログラミング教育の小学校

英国とエストニアの取り組み

情報化社会で高い生産性を実現していくためには、様々な分野で「ITの仕組みを理解し使いこなす能力」を持つ人材が求められる。既に欧米では、ITリテラシーを高める取り組みが始まっている。今回は、英国とエストニアについて紹介する。

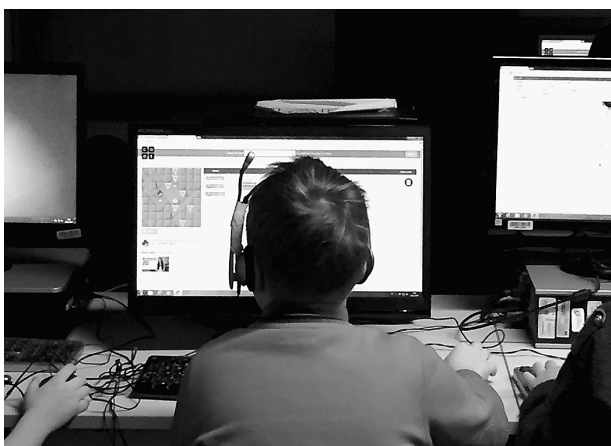
英国では、1988年から義務教育課程においてIT教育に取り組んできたが、教育現場ではWordやExcel教材では、PCやタブ

一方、ロジックの組む方々を育てる例えは、生徒達がそれ財政や指導教師の不足

「コンピュティング」それぞれ数字の書かれたカードを持ち、数値の比較などのルールに従っ

「コンピューティング」の授業も一般的には5〜7歳で開始するが、学校によっては3歳からの早期教育に取り組む。

一方、ロジックの組む方々を育てる例えは、生徒達がそれ財政や指導教師の不足



プログラミングをする小学生(エストニア)

プログラミングをする小学生(エストニア)

「国防」科と展望について論じ目の一環とる。